

令和4年度北信越高等学校体育大会  
 第55回北信越高等学校選手権水泳競技大会  
 兼第90回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会

大会実施要項

主催 北信越高等学校体育連盟・(公財)日本水泳連盟  
 共催 富山県教育委員会・(公財)富山県体育協会・富山市教育委員会・高岡市教育委員会  
 後援 北日本新聞社・富山新聞社・北日本放送・富山テレビ放送・チューリップテレビ(予定)  
 主管 富山県高等学校体育連盟・(一社)富山県水泳連盟・富山県高等学校体育連盟水泳専門部

1 期 日

(1) 開会式	競泳・飛込 水 球	令和4年7月22日(金) 令和4年7月23日(土)	9時30分 9時30分
(2) 競 技	競 泳 飛込・水球	令和4年7月22日(金) 令和4年7月23日(土)	～ 24日(日) (3日間) ～ 24日(日) (2日間)
(3) 閉会式	競泳・飛込 水 球	令和4年7月24日(日) 令和4年7月24日(日)	15時00分(予定) 14時30分(予定)

2 会 場

【開会式・競技・閉会式】

競泳・飛込	富山県高岡総合プール 〒933-0982 高岡市八ヶ88-1	TEL 0766-28-1166
水 球	富山県総合体育センター温水プール 〒939-8252 富山市秋ヶ島183	TEL 076-429-5455

3 競技種目

種 目	男 子	女 子	
競 泳	自由形 背 泳 ぎ 平 泳 ぎ バタフライ 個人メドレー	50m 100m 200m 400m 1500m 100m 200m 100m 200m 100m 200m 200m 400m	50m 100m 200m 400m 800m 100m 200m 100m 200m 100m 200m 200m 400m
	フリーリレー メドレーリレー	4×100m 4×200m 4×100m	4×100m 4×200m 4×100m
飛 込	飛 板 飛 込 (3 m)	11演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易度合計9.5以内) 自由選択飛6演技 (各群より、但しこの内1演技種目は いずれの群より選択しても可。) 競技方法 … 参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選6演技 自由選択飛6演技 ・決勝11演技 制限選択飛5演技 自由選択飛6演技	10演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易度合計9.5以内) 自由選択飛5演技 (各群より) 競技方法 … 参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝10演技 制限選択飛5演技 自由選択飛5演技
	高 飛 込	10演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易度合計7.6以内) 自由選択飛6演技(各群より) 競技方法 … 参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選6演技 自由選択飛6演技 ・決勝10演技 制限選択飛4演技 自由選択飛6演技	9演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易度合計7.6以内) 自由選択飛5演技(異群より) 競技方法 … 参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝9演技 制限選択飛4演技 自由選択飛5演技
(注) 決勝は予選12位までのもので行う。(12位が同点で2人以上出た場合は12人以上になることもある。) 決勝の自由選択飛は、決勝における自由選択演技種目は、予選終了後30分以内であれば変更を認 める。決勝における順位は、決勝の得点合計により決定する。			
水 球	参加チーム数により対戦形式を決定し、その競技方法により順位を決める。		

#### 4 競技日程

##### (1) 競 泳

**第1日 7月22日(金) 競技開始 10時10分**

1	女子	200m背泳ぎ	(予選)	11	女子	200m背泳ぎ	(決勝)
2	男子	200m背泳ぎ	(予選)	12	男子	200m背泳ぎ	(決勝)
3	女子	400m自由形	(予選)	13	女子	400m自由形	(決勝)
4	男子	400m自由形	(予選)	14	男子	400m自由形	(決勝)
5	女子	200mバタフライ	(予選)	15	女子	200mバタフライ	(決勝)
6	男子	200mバタフライ	(予選)	16	男子	200mバタフライ	(決勝)
7	女子	200m平泳ぎ	(予選)	17	女子	200m平泳ぎ	(決勝)
8	男子	200m平泳ぎ	(予選)	18	男子	200m平泳ぎ	(決勝)
9	女子	4×100mフリーリレー	(予選)			休 憩	
10	男子	4×100mフリーリレー	(予選)	19	女子	4×100mフリーリレー	(決勝)
				20	男子	4×100mフリーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 17時30分]

**第2日 7月23日(土) 競技開始 9時15分**

21	女子	200m個人メドレー	(予選)	33	女子	800m自由形	(タイム決勝)
22	男子	200m個人メドレー	(予選)	34	女子	200m個人メドレー	(決勝)
23	女子	100m自由形	(予選)	35	男子	200m個人メドレー	(決勝)
24	男子	100m自由形	(予選)	36	女子	100m自由形	(決勝)
25	女子	100mバタフライ	(予選)	37	男子	100m自由形	(決勝)
26	男子	100mバタフライ	(予選)	38	女子	100mバタフライ	(決勝)
27	女子	100m背泳ぎ	(予選)	39	男子	100mバタフライ	(決勝)
28	男子	100m背泳ぎ	(予選)	40	女子	100m背泳ぎ	(決勝)
29	女子	100m平泳ぎ	(予選)	41	男子	100m背泳ぎ	(決勝)
30	男子	100m平泳ぎ	(予選)	42	女子	100m平泳ぎ	(決勝)
31	女子	4×200mフリーリレー	(予選)	43	男子	100m平泳ぎ	(決勝)
32	男子	4×200mフリーリレー	(予選)			休 憩	
				44	女子	4×200mフリーリレー	(決勝)
				45	男子	4×200mフリーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 17時00分]

**第3日 7月24日(日) 競技開始 9時15分**

46	女子	50m自由形	(予選)	54	男子	1500m自由形	(タイム決勝)
47	男子	50m自由形	(予選)	55	女子	400m個人メドレー	(決勝)
48	女子	400m個人メドレー	(予選)	56	男子	400m個人メドレー	(決勝)
49	男子	400m個人メドレー	(予選)	57	女子	50m自由形	(決勝)
50	女子	200m自由形	(予選)	58	男子	50m自由形	(決勝)
51	男子	200m自由形	(予選)	59	女子	200m自由形	(決勝)
52	女子	4×100mメドレーリレー	(予選)	60	男子	200m自由形	(決勝)
53	男子	4×100mメドレーリレー	(予選)			休 憩	
				61	女子	4×100mメドレーリレー	(決勝)
				62	男子	4×100mメドレーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 14時30分]

##### (2) 飛 込

**第1日 7月23日(土) 競技開始 9時30分**

1	男子	飛板飛込	(予選・決勝)	2	女子	飛板飛込	(予選・決勝)
---	----	------	---------	---	----	------	---------

**第2日 7月24日(日) 競技開始 11時00分**

3	男子	高飛込	(予選・決勝)	4	女子	高飛込	(予選・決勝)
---	----	-----	---------	---	----	-----	---------

\* 競技運営上、時間を変更する場合があります。

##### (3) 水 球

**第1日 7月23日(土) 10時00分～17時00分 予定**

リーグ戦またはトーナメント戦

**第2日 7月24日(日) 9時30分～14時00分 予定**

リーグ戦またはトーナメント戦

[時間的余裕があれば女子のエキシビジョンを入れる]

- 5 競技規定  
2022年度(公財)日本水泳連盟競技規則による。
- 6 競技方法  
学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は以下による。
- (1) 競 泳  
個人種目は1位8点、2位7点・・・8位1点。リレー種目は1位16点、2位14点・・・8位2点とし、(個人種目・リレー種目とも、同着の場合は、その順位の得点をそれぞれが得るものとする)総合得点の最も多い学校を優勝校とする。  
総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。  
ア リレー種目による得点の多い学校  
イ 入賞者数の多い学校 (ただし、リレー種目は4と計算する)  
ウ 1位の数  
エ 2位の数 (以下、8位までこれにならう)
- (2) 飛 込  
各演技種目は1位8点、2位7点・・・8位1点とし、総合得点の最も多い学校を優勝校とする。  
なお、総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。  
ア 入賞者数の多い学校  
イ 1位の数  
ウ 2位の数 (以下、8位までこれにならう)  
エ 当該入賞者の得点の平均点が高いもののいる学校  
(得点の平均点は演技数で割ったもので、小数第3位を四捨五入して少数第2位まで算出する。)  
オ 当該入賞者の得点の中で1演技について最も高い数値を得たもののいる学校
- (3) 水 球  
ア 試合形式  
全試合リーグ戦方式とする。  
イ 試合方法、勝敗、順位の決定(FINAの決定方法を採用)  
①勝ち2、負け0、引分け1点として順位を決定し、延長戦は行わない。  
②リーグ内で勝ち点が同点の場合、順位の決定方法は、「水球ハンドブック」(公財)日本水泳連盟発行の「リーグ戦におけるタイブレーク方式について」を参照すること。なお、棄権は0-20で敗戦とする。  
ウ 競技時間は、正式時間を採用する。  
エ 競技に使用するボールは、男子は(公財)日本水泳連盟一般男子公認球とする。  
オ 組み合わせ抽選会  
令和4年7月4日(月)午後3時より、富山県立富山北部高等学校にて行う。
- 7 引率・監督  
(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。  
但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。  
(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。  
但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 8 参加資格  
(1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
ただし、休学中、留学中の生徒は除く。  
(2) 選手は北信越5県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該種目の大会実施要項により大会参加資格を得たものに限る。  
(3) 上記(1)(2)に定める生徒で、次の条件を満たしていること。  
ア 競泳は各県大会の成績で、各種目決勝8位までの入賞者、及び予選・決勝を問わず全国大会の標準機録を突破した者は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。(個人種目はフラットレースで突破しなければならない。)  
ただし、男子1500m自由形及び女子800m自由形は決勝8位までの入賞者で、参加制限記録は男子1500m自由形は19分55秒19、女子800m自由形は10分48秒59とする。各リレー種目はフリーリレーは資格取得者を含め6名(補員は2名まで)、メドレーリレーは資格取得者を含め8名(補員は4名まで)を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する者に交代させることができる。  
イ 飛込は(公財)日本水泳連盟の各県加盟団体の推薦を経て申し込むものとする。  
ウ 水球は各県4位以内のチームで、各県加盟団体の推薦を経て申し込むものとする。  
(4) 年齢制限  
出場選手は平成15(2003)年4月2日以後に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
①「出場」とは登録エントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。  
※ベンチに入ることは「出場」とみなす。  
②大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。  
(5) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(6) 複数校含むチームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(7) 転校・転籍後1年未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。大会開始前のエントリー変更期限前に1年が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。  
(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する各県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、全国高等学校総合体育大会開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条、134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア 本連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1) 競 泳

- 1校1種目3名以内、1名2種目以内(ただし、リレーは除く)とする。  
各リレー種目はフリーリレーは資格取得者を含め6名(補員は2名まで)、メドレーリレーは資格取得者を含め8名(補員は4名まで)を申し込むことができる。ただし、申込については出場資格を得た4名を必ず含めること。

(2) 飛 込

1校1種目3名以内とする。

(3) 水 球

1チーム監督1名、選手13名、マネージャー1名とする。なお、エントリーには補員2名まで申し込むことができる。

10 申込方法

(1) 申込様式

- 第1号様式 種目別参加選手一覧表…………… 男女各2枚(A3)  
第2号様式 学校長出場認知書…………… 男女各1枚(A3)  
第3号様式 宿泊・弁当申込書…………… 1通(A4)  
第4号様式 各県参加学校別一覧表…………… 競泳・飛込・水球各1通(A3)

※ この他、競泳についてはリザルトシステムによる県大会結果のバックアップファイルをメールで送付するとともに、別途指定の宛先まで同ファイルを電子メールで送ること。

※ 飛込についてはWeb-SWMSYSによるエントリーを行い「エントリー集計表」(その集計・印刷した書類)も送付する。

※ 水球については、参加選手一覧表のファイルを別途指定の宛先まで電子メールで送ること。

(2) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、所定のダイブシートに自分が行おうとする飛込演技種目の番号、型、飛板又は台の高さ、難易度を記入してそれぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート入れ」の箱に投函すること。なお、予選用及び決勝用を必ず同時に提出すること。

(3) 申 込 先 第55回北信越高等学校選手権水泳競技大会事務局(競泳・飛込・水球)

〒930-8540 富山県富山市庄高田413  
富山県立富山商業高等学校 羽根 淳 宛  
TEL 076-441-3438 FAX 076-441-3439  
e-mail hane-atusi@ed.pref.toyama.jp

※ 第1、4号様式は各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)にて作成し、すべて上記の申込先に送付すること。

※ 第2、3号様式は出場校にて作成し、各県高体連水泳専門部委員長がとりまとめ、上記の申込先に簡易書留(レターパック可)で送付すること。

(4) 参 加 料

競泳・飛込 1名につき 2,000円(リレー補員を含む)  
水 球 1チームにつき 20,000円

(5) 振 込 先

振込先の金融機関名、口座番号等は参加料の取りまとめを行う各県委員長へ別途通知する。

(6) 申込締切 令和4年7月1日(金) 正午必着(簡易書留(レターパック可))

11 表彰

優秀な成績を収めた以下の者を表彰する。

(1) 競泳

- ◇個人 …… 男女とも各種目8位までの者に賞状を与え、3位までを表彰する。  
リレー種目3位までのチームについては、泳者4名にも賞状を授与する。
- ◇総合成績 …… 男女別にそれぞれ8位までの学校を表彰する。  
優勝校には(公財)日本水泳連盟競泳トロフィーを授与する。

(2) 飛込

- ◇個人 …… 男女とも各種目8位までの者に賞状を与え、3位までを表彰する。
- ◇総合成績 …… 男女別にそれぞれ3位までの学校を表彰する。  
優勝校には(公財)日本水泳連盟飛込優勝旗を授与する。

(3) 水球

- ◇チーム …… 4位まで表彰する。優勝校には(公財)日本水泳連盟水球トロフィーを授与する。  
優勝校のみ、エントリーメンバー13名にも賞状を授与する。

12 宿泊・弁当

(1) 宿泊料金 1泊2食 11,000円(税込)を上限とし、三段階程度の設定とする。(予定) 昼食弁当 850円(税込)

(2) 申込方法

- ア 別紙の宿泊・弁当申込要項に則り、第3号様式(宿泊・弁当申込書)を1通を作成し、各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)まで申し込むこと。
- イ 各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)が一括、書留郵便にて10.(3)の申込先に送付すること。
- ウ 宿泊決定後の人数等の変更については、要項に則り、各学校申込責任者が配宿担当業者と連絡をとること。

13 諸会議

(1) 監督者会議

- ◇競泳 7月21日(木) 16時00分～ 富山高岡総合プール 室内プール2階スタンド
- ◇飛込 7月22日(金) 16時00分～ 富山高岡総合プール 飛込プールサイド
- ◇水球 7月22日(金) 16時00分～ 富山県総合体育センター 監視員室

(2) 代表者会議

7月22日(金) 競技終了後 ホテルニューオータニ高岡

14 練習会場

	競		泳	飛込		水球	
	本プール		サブプール	本プール		本プール・サブプール	
7月21日(木)	開門 10:30 10:30 ~ 12:45 13:30 ~ 15:45	富山県・石川県・福井県 新潟県・長野県		開門 13:00 13:00 ~ 18:00			
7月22日(金)	開門 7:15 7:15 ~ 9:15 競技終了~ 18:00	開門 7:15 7:15 ~ 18:00		開門 7:15 7:15 ~ 18:00		開門 13:00 13:00 ~ 18:00	
7月23日(土)	開門 7:15 7:15 ~ 9:00 競技終了~ 18:00	開門 7:15 7:15 ~ 18:00		開門 7:15 7:15 ~ 18:00 ただし、競技のない時間帯		開門 7:15 7:15 ~ 18:00 本プールは競技のない時間帯	
7月24日(日)	開門 7:15 7:15 ~ 9:00	開門 7:15 7:15 ~ 14:30		開門 7:15 7:15 ~ 13:00 ただし、競技のない時間帯		開門 7:15 7:15 ~ 14:30 本プールは競技のない時間帯	

15 大会期間中の本部

7月21日(木)~7月24日(日)

競技	時間	7月21日(木)~7月24日(日)		TEL
		富山県高岡総合プール	高岡市八ヶ88-1	
飛込	昼間	富山県高岡総合プール	高岡市八ヶ88-1	0766(28)1166
	夜間	ホテルニューオータニ高岡	高岡市新横町1	0766(26)1111
水球	昼間	富山県総合体育センター	富山市秋ヶ島183	076(429)5455

16 交通機関

競泳 飛込	あいの風とやま鉄道 高岡駅	バス(加越能バス) → 富山大学高岡キャンパス下車 (所要時間約20分, 340円) 万葉線 → 米島口下車(所用時間約20分, 300円) → 徒歩約20分 タクシー → (所要時間約15分, 2,000円程度)
水球	JR富山駅	バス(地鉄バス) → 総合体育センター前下車 (所要時間約25分, 420円) タクシー → (所要時間約20分, 3,000円程度)

17 連絡事項

- (1) 本大会は無観客試合として開催し、会場内に入場できるのは参加申込時に登録した選手、監督、引率責任者、および役員、補助報道関係者とする。なお、外部コーチについては各県委員長よりADカードの交付を受けた者の入場を認める。  
大学等の勧誘関係者の入場は認めない。
- (2) 出場関係者はあらかじめ健康チェックシート(様式1)を記入し、引率責任者が参加者全員の健康チェック内容を参加日ごとに健康チェックシート集約表(様式2)にまとめて学校受付へ提出する。
- (3) 外部指導者、役員・補助員等は参加日ごとに健康チェックシート(様式3)を記入して役員受付へ提出する。
- (4) 感染症対策及び注意事項【巻末資料】を熟読し、生徒・保護者にも周知徹底をすること。
- (5) 大会プログラムは1部1,000円とし、エントリー選手(学校長出場認知書の記載選手)は全員購入とする。学校受付時に代金と引き換える。(競泳・飛込) 水球の参加チームは2部を無償配布する。なお、決勝については、スタートリストを1部100円で販売。
- (6) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側に行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を携帯すること。
- (7) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は選手の行動について責任を負うものとする。
- (8) 競泳会場における各県の控所は、5月の代表者会議において抽選決定した場所とする。
- (9) 2次要項等の大会情報は、(一社)富山県水泳連盟HPに掲載しますので、随時ご確認ください。

18 全国大会参加資格

前記8(1), (2), (4)～(9)項の他, 次の項によって参加資格を得たもの。

ア 競 泳

(ア) 北信越大会において, 各決勝種目3位までの入賞者, またはチーム。

(イ) 北信越大会において, 予選及び決勝を問わず別記全国大会への標準記録を突破した者, またはチーム。

なお, 同タイムも含む

< (ア), (イ)の確認事項 >

注1 個人種目では, 必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレー種目の第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

注2 各県大会の記録で出場することは認められない。

注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注4 フリーリレー及びメドレーリレーは, 北信越大会における予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と, 別に補員1名を申し込むことができる。ただし, 競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注5 全国大会のエントリータイムは, 北信越大会の予選・決勝のうちの速いタイムとする。

(ウ) 北信越大会において, 全国大会の出場資格を得なかった県は, 最低男女各1名を1種目のみ, 出場資格者として各県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は, 出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。

※推薦は, 自由形, 背泳ぎ, 平泳ぎ, バタフライの100m, 200m及び200m個人メドレー, 50m自由形の種目で, 北信越大会において全国大会の標準記録に最も近い記録のものとする。

(エ) 選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため, 北信越大会に出場することができない場合は, 北信越大会への出場を免除する。リレー種目についても, 北信越大会において代表選手がチームの一員として出場し, 全国大会標準記録を突破しているチームは, 同様の措置を適用する。ただし, その理由書(特別措置申請書)

また, リレー種目において, 国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合, 補欠を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名, 3名の場合は2名の増員を可能とする。但し, 4名全員が辞退する場合は, 予選競技参加者が不在のため補欠の増員は行わない。

但し, その理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し, その後, 各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は次の①～④へ提出すること。なお, 届出者は, 当該学校長とする。

- ① 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ② 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
- ③ 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ④ 全国大会開催地都道府県高等学校体育連盟会長

上記に関しての出場措置は, 次のように行う。

1 個人種目について

(1) 北信越大会不出場, 全国大会出場の場合は, 北信越大会3位まで+派遣選手とする。

(2) 北信越大会出場, 全国大会不出場の場合は, 繰上げを行い, 北信越大会の出場者を3名とする。

注 各都道府県内の予選会から, 代表選手を参加制限の人数の中を含めなければならない。

2 リレー種目について

(1) 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する。(各個人の合計記録は認めない。)

(2) チームとしては, 都道府県予選会, 北信越大会には出場する。

北信越大会の記録を優先し, 突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

(オ) 全国大会標準記録

種 目	男 子	女 子	
自 由 形	50 m	24.09	27.15
	100 m	52.45	58.81
	200 m	1:54.51	2:06.83
	400 m	4:03.47	4:26.41
	800 m	-----	9:11.13
	1500 m	16:16.25	-----
背 泳 ぎ	100 m	59.03	1:05.08
	200 m	2:08.74	2:19.56
平 泳 ぎ	100 m	1:04.42	1:12.84
	200 m	2:19.22	2:35.71
バタフライ	100 m	56.03	1:02.68
	200 m	2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200 m	2:08.20	2:22.63
	400 m	4:33.44	5:03.14
フリーリレー	4×100 m	3:36.31	4:02.26
	4×200 m	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100 m	3:56.68	4:26.16

※社会の情勢により, 出場制限を行う場合がある。

イ 飛 込

- (ア) 北信越大会において各競技種目の第1位の者。
- (イ) 北信越大会において以下に定める各競技種目の標準点数を突破した者。(同点可)
- (ウ) 全国大会標準点数

種 目	男 子	女 子
飛板飛込(3m)	11演技 323.00	10演技 285.00
高 飛 込	10演技 288.00	9演技 260.00

全国大会特別措置

国際大会などの代表選手は、都道府県・北信越大会を経なくても出場できる。

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、北信越大会に出場することができない場合は、北信越大会への出場を免除する。

ただし、その理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、次の①～④へ提出すること。

なお届出者は、当該校長とする。

- ① 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ② 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
- ③ 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ④ 北信越高等学校体育連盟会長

ウ 水 球

- (ア) 北信越大会の成績によって上位2位までのチーム。
  - (イ) 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームに不利益が被らないように試合条件を変更して出場権を決定することができる。
- 試合実施の可否については地域大会主管実行委員会において判断する。

## 【巻末資料】

# 北信越高等学校体育大会水泳競技大会における感染症対策及び注意事項

### 1. 専門部が行う感染症対策

- (1) 競技団体が定める「感染症に係るガイドライン」による感染症対策を行う。
- (2) 大会7日前からの健康チェックシートにより、参加者の体調を確認する。
- (3) 3密（密閉・密集・密接）を回避する。
  - ・屋内施設においては、定期的な換気を行う。
  - ・更衣室は少人数で短時間の利用とし、換気に配慮する。また可能な限り消毒する。
  - ・休憩・待機スペースは、広さにゆとりをもたせ、他の参加者と密になることを避ける。
- (4) 共用を避けることが難しい用具等は、こまめに消毒する。
- (5) 入場口及び会場内に手指の消毒設備を設置する。
- (6) 観客の管理として無観客とする
- (7) 活動時以外のマスク着用の注意喚起。

### 2. 競技団体が定めるガイドラインによる感染症対策（抜粋）

- (1) 入館前7日間において以下の事項に該当する場合は、入館の見合わせを求める。
  - ・平熱を超える発熱・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
  - ・臭覚や味覚の異常・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 入場・待機・受付時の対応
  - ① 「選手の時間差入場」「待機人数の削減」「人との距離を考慮した目印」「競技役員と選手の入退場動線を分ける」等、密になる状況避ける対策をとる。
  - ② 「マスクの着用」「大声での会話」「対面姿勢での会話」等について注意する。
  - ③ 入場時に手指消毒液を使用させる。
  - ④ 受付では、アクリル板・透明ビニールカーテン・手袋等を準備して対応する。
- (3) 更衣室・招集所・招集所前の待機スペース
  - ① 広さにはゆとりを持たせ、他の利用者と密になることを避ける。
  - ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する等の措置をとる。
  - ③ 招集所内の椅子の間隔を保ち、対面姿勢とならないように配置する。
  - ④ 招集所・招集所前の待機スペースでは、最少人数での選手待機とする。
  - ⑤ 換気扇を常に回す、出入り口のドアは開放する、換気用の窓をあける等、換気に配慮する。
  - ⑥ 招集所入口にアルコール等の手指消毒用薬を用意する。
  - ⑦ 招集所でもマスクを着用させるが、招集所からプールに出るときはマスクを外して、服内のポケットか袋に入れさせる。（マスクは選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）
- (4) 練習時、選手控え場所、観客席の対応
  - ① 「各レーン内で待機する場合」「スタート練習で並ぶ場合」は、少なくとも1m以上の間隔を保つ、会話をしない等の指示をする。
  - ② 選手に対して、泳ぐとき以外のマスク着用を周知する。
  - ③ 唾や痰を吐くことは極力行わない。
  - ④ マスクの着用、大声での会話や応援を周知する。
  - ⑤ 熱中症の危険があると思われるときはマスクを外してもよいが、近距離での会話を行わないなど基本的な

感染

予防対策を怠らないようにする。

- (5) ゴミの廃棄
  - ゴミは、すべて持ち帰りとする。
- (6) 飲食について
  - 食事を摂取する際には個別に摂取する。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないように摂取する。また食事時の会話は控えるようにする。
- (7) 競技終了後
  - ① チーム全体で退館するのではなく、可能な限り自分のレース終了後に個々に退館する。
  - ② 長時間のミーティング・懇親会等は行わないよう周知する。
- (8) 全般的な対応
  - ① チェックリストについて、順守されているか定期的に巡回・確認する。
  - ② 必要な取り組みを適宜付加し、場内アナウンス・電光表示等で徹底を図る。

#### 4. 参加校への注意事項

- (1) ガイドラインに則した感染症対策・熱中症対策を講じて開催準備・運営を進めますが、感染症の状況等によっては中止する場合があります。
- (2) 各校で、大会7日前からの検温結果及び健康状況等を把握した上で大会参加してください。不安な状態であれば参加を見合わせる等の判断をしてください。
- (3) 参加・不参加については、本人の意思を尊重してください。
- (4) 生徒及び教職員が、感染者・濃厚接触者となった場合は、保健所が指定する出席停止期間は、大会参加は禁止とします。
- (5) 医療救護として救護所に医師・看護師・救護所担当係員を競技終了後まで常駐し、対応します。
- (6) 大会終了後5日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに顧問に申し出ること。
- (7) 専門部が定める感染症対策及び注意事項を遵守すること。

